

明科いいまちサロン(72回目)『故郷の地質と地震について』

令和元年9月25日(水)10:00~12:00

於：明科公民館講堂

最近は集中豪雨災害や地震等の自然災害が多発していることから、今回は、明科高校教諭で地質学が専門の遠藤正孝氏をお招きし、「故郷の地質と地震について」と題して、講演をいただいた。

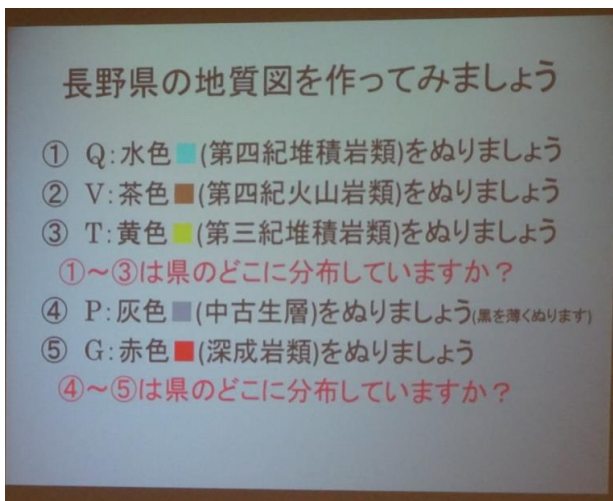
誰にでもわかるようにとの要請に応じていただき、最初は、お茶を飲みながら長野県地質略図に色付けから始まった。参加者は、今までとは大部分人が変わり今までにないサロンとなった。お茶も飲まずに、略図に色塗りし、完成させる人までおりました。講義は、略図を観ながら、模型を見ながら等時間一杯分かり易く説明していただいた。



浅見代表あいさつ



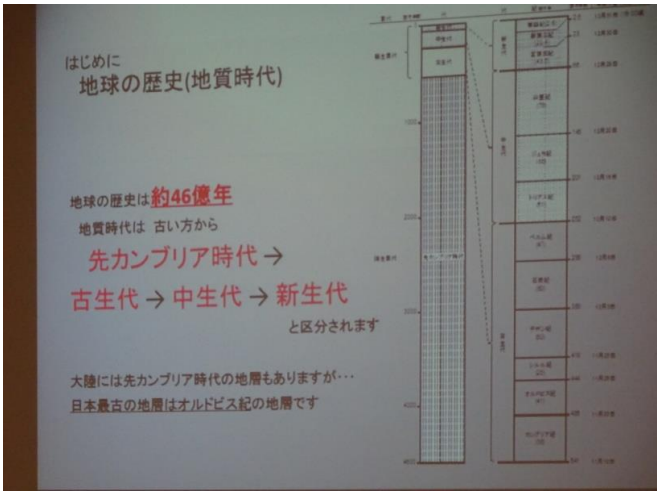
本日の講師 遠藤正孝教諭



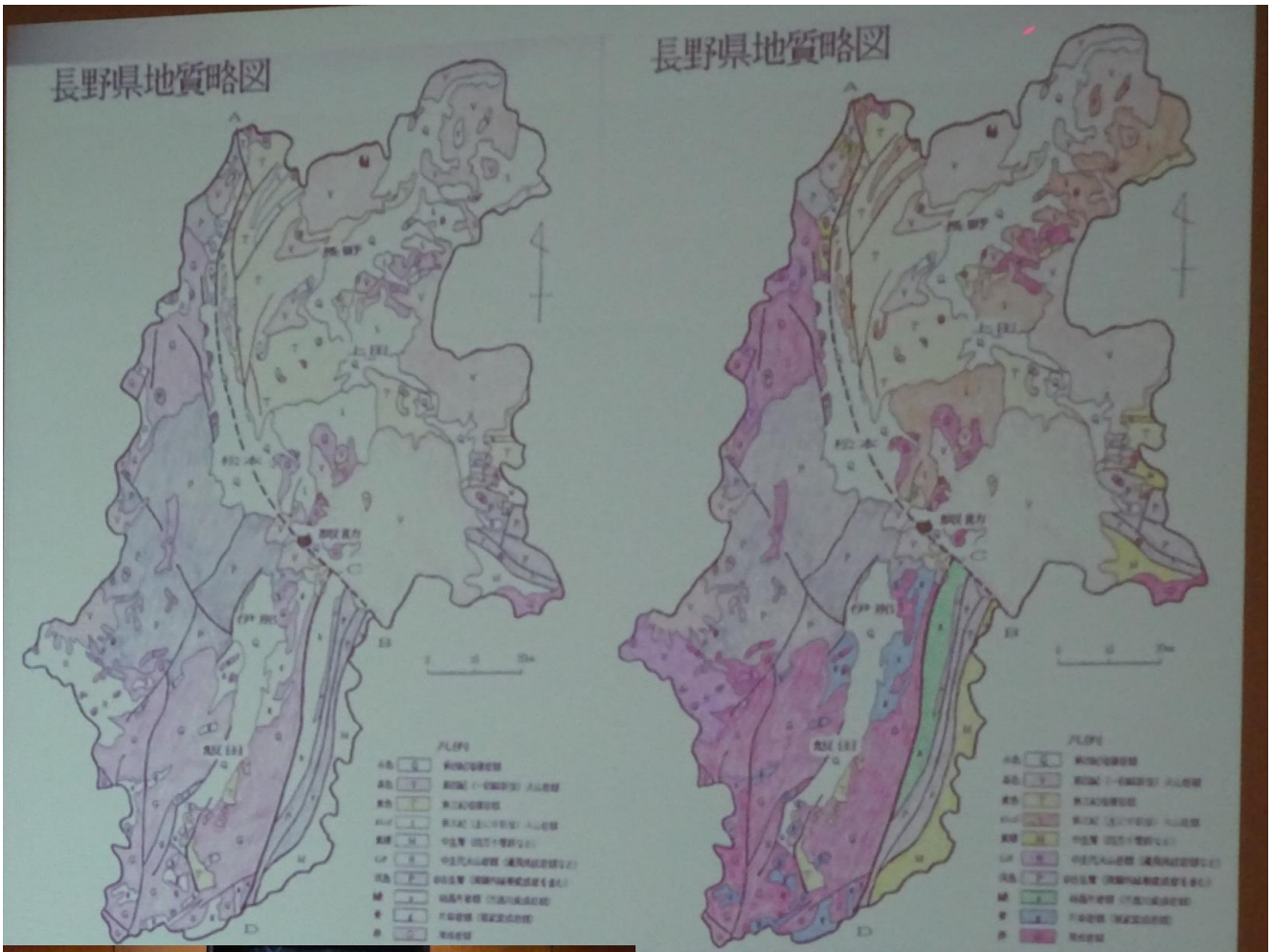
長野県地質図 略図作成



いつもと違うお茶会の様子



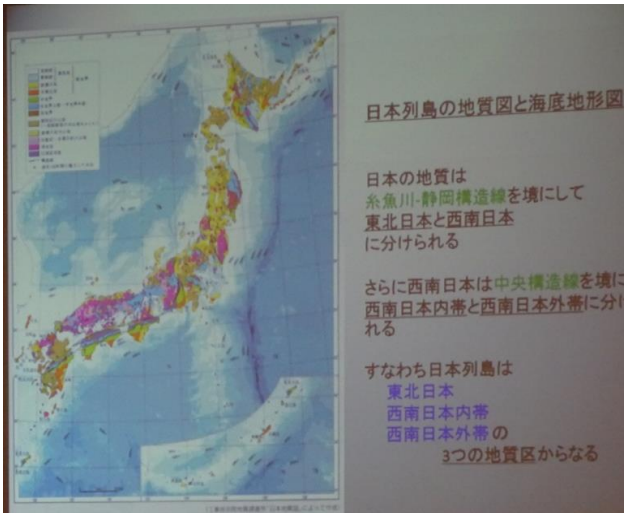
講義の始まりです



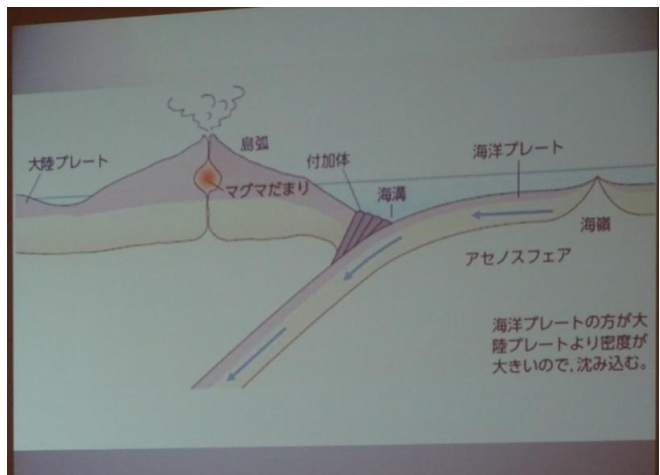
色分けされた地質図



断層について説明



採取された堆積岩を見入る参加者



地震の発生・伝わり方・地震計・地震速報等についての説明する講師



今日のお茶うけ